

1. 小単元名 武士の世の中へ

2. 小単元について

本小単元は学習指導要領の第6学年内容(1)のウ「源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて調べ、武士による政治が始まったことがわかること。」を受けて扱うものである。ここでは小単元「武士の世の中へ」の中の源頼朝が平氏打倒の兵を挙げたところから鎌倉に幕府がおかれたころまでの時期のうち、「源平の戦い」、「鎌倉幕府の始まり」、「元との戦い」の3つの歴史的事象を取り上げ、これらを具体的に調べることを通して、武士による政治が始まったことがわかるようにすることをねらいとしている。源平合戦では平氏と戦った源氏が勝利できた理由を、源義経や千葉常胤の活躍などを取り上げて調べさせ、わかるようにする。鎌倉幕府の始まりでは朝廷から認められ全国に守護地頭を置いた源頼朝が鎌倉に幕府を開いたことを取り上げて調べ、武士による政治が始まったことがわかるようにする。元との戦いでは、北条時宗が全国の武士を動員して元の攻撃を退けたことなどを取り上げて調べ、幕府が全国的に力をもってきたことがわかるようにすることである。

児童はこれまでに、縄文～弥生時代のくらしの変化や天皇中心の国づくり、貴族の生活について学んできた。歴史の授業では、必ず時代の流れや誰がどんな思いを持って時代の中心になってきたのかを確認し、学習を進めてきた。調べる活動を行う際、本学級ではこれまで資料から事実を読み取ることに重点を置いてきた。本小単元からは資料から読み取った事実からどのようなことが考えられるのかという視点をもたせ、考えたことを話し合わせる活動を多く取り入れていきたい。

本校は千葉神社の近く位置し、古くから深い関係を結んでいる。このことは本校の校章が九曜紋をかたどったものであることからわかる。千葉神社は源頼朝の挙兵と源平合戦の勝利に大きく貢献した千葉常胤と深い関わりがある。本小単元において源平合戦を扱う時間に源義経、那須与一、畠山重忠だけでなく千葉常胤も源氏の勝利に大きく貢献したことを児童に理解させたい。地域と深い関わりのある人物が源平合戦に大きく関わっていることを調べることによって、児童の関心、意欲を高めていきたい。

この小単元の中で、地域に貢献した先人の思いや願いを考えることにより第6学年の目標(1)の中にある「歴史上の人物が当時の世の中の課題を解決し人々の願いを実現していったことを調べたり、調べたことをまとめたりしながら、人物の働きを共感的に理解できる」を達成することができるのではないかと考える。また内容(1)の中にある「自分たちの生活の歴史的背景、わが国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深める」をも達成できるのではないかと考える。

また源平の戦いにおける源義経や千葉常胤の活躍の様子やエピソードを調べる学習、元との戦いの様子から武士の戦いぶりを調べる学習など調べ学習のなかから、当時の人々がどのような思いや願いを持っていたのかを資料を参考に読み取らせながら、考えさせる活動を取り入れていきたい。

3. 児童の実態（男子18名 女子18名 計36名）

① 社会科の学習は好きですか。

大好き（5名） 好き（23名） 嫌い（5名） 大嫌い（3名）

② 社会科の学習はなぜ好き（嫌い）ですか。（複数回答）

【大好き・好き】

- ・調べ学習が好き（10名）
- ・歴史が好き（6名）
- ・新しいことを知ることができる（7名）
- ・新聞を書くことが好き（2名）
- ・地理と違って覚えやすい（1名）

【大嫌い・嫌い】

- ・調べ学習が嫌い（5名）
- ・考えることが少ない（1名）
- ・わからない（1名）

③ 歴史上の人物で知っている人はいますか。（※回答が10名以上あったもの）

- ・卑弥呼（30名）
- ・坂本龍馬（26名）
- ・聖徳太子（23名）
- ・徳川家康（23名）
- ・織田信長（22名）
- ・ザビエル（21名）
- ・ペリー（19名）
- ・野口英世（18名）
- ・伊能忠敬（17名）
- ・武田信玄（13名）
- ・福沢諭吉（13名）
- ・伊達正宗（11名）

- ・源義経（6名）
- ・源頼朝（3名）
- ・北条政子（3名）
- ・平清盛（3名）

・千葉常胤（0名）

④ 千葉市にある歴史とかかわりのある場所や人物を知っていますか。（複数回答）

- ・加曾利貝塚（13名）
- ・伊能忠敬（6名）
- ・千葉城（2名）
- ・千葉神社（1名）
- ・オオガハス（1名）
- ・知らない（17名）

⑤ 鎌倉時代について知っていることはありますか。

- ・鎌倉幕府があった（3名）
- ・1333年に滅びる（1名）
- ・三代で途絶えた（1名）
- ・知らない（31名）

⑥ 千葉市にある鎌倉時代とかかわりの深い人物や場所を知っていますか。

- ・伊能忠敬（1名）
- ・知らない（35名）

⑦ 鎌倉時代について調べてみたいことはありますか。（複数回答）

- ・鎌倉時代の人物（13名）
- ・鎌倉時代の生活（9名）
- ・鎌倉時代に起きた変化や出来事（7名）
- ・鎌倉時代の服装（6名）
- ・鎌倉時代の道具（6名）
- ・鎌倉時代に起きた争い（3名）
- ・鎌倉幕府について（3名）

- ・鎌倉時代の名前の由来（2名） ・鎌倉時代の文化（1名）
- ・千葉にかかわるもの（1名）

⑧ 院内小学校の校章の由来を知っていますか

- ・知っている（1名）
- ・知らない（35名）

【考察】

社会科の学習が好きであると答えた児童は28名おり、8割弱の児童が社会科の学習を好意的にとらえている。好きと答えた児童のうち半分は調べ学習そのものや、新しいことを発見することに喜びを見出しているようである。また6年生になって「歴史分野」そのものを好意的にとらえているようであった。逆に社会科の学習が嫌いであると答えた児童は調べ学習に対して抵抗があるようであった。また、課題を解決するために「思考する」活動に物足りなさを感じているようであった。そのため調べ学習での資料の提示方法を工夫し、関心を高めるとともに、資料からの読み取りや考察など課題解決のために「思考する」活動を多く取り入れていきたい。

5月中旬に行ったこの調査では、歴史上の人物を問う設問で、多くの人物の名前が挙がった。児童たちの歴史への関心の高さがうかがえる結果となった。そのなかでも坂本龍馬、織田信長などの人気のある人物は多くの児童が知っているという回答があった。また野口英世や福沢諭吉はお札に書かれている人物として、身近に感じているようである。一方で鎌倉時代に関係のある人物に関しては回答する児童が少なく、生活との関係の少なさをあらわすものとなった。そして千葉に関係のある、となると4月に校外学習で行った加曽利貝塚や、3年生で学習したオオガハスの名前が挙がるだけで、千葉常胤や幕張の名が挙がることはなかった。

これらの結果から、児童は歴史学習に関心が高いものの、それらの登場人物のなかで自分たちの生活や地域と関連している人物がいることに気が付いていないようであった。児童たちの願いとして鎌倉時代の人物、社会の変化や当時の社会生活について調べたいという声があがっていた。調べ活動の中で地域と関係のある人物を出しながら、その時代の人たちの願いや思いを資料から読み取らせ、考える力をつけさせていきたい。

4. 小単元の目標

- 武士の生活の様子、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いなどの出来事について進んで調べ、武士による政治が始まって新たな時代を迎えたこと、鎌倉幕府が御恩と奉公の関係で武士たちを従わせたことや朝廷の軍を破ってその力が西国にまで及ぶようになったこと、元との戦いが鎌倉幕府の全国支配に大きな影響を及ぼしたことがわかるとともに、当時の社会の様子や武士の思いや願いを関連させて考えるようにする。

5. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	○自分たちの身近な地域の歴史上の人物や建物に関心を持ち、当時の人々の思いや願いを考えることに自主的に取り組もうとしている。
社会的な 思考・判断・表現	○武士の台頭とその勢力の移り変わりを資料から読み取り、武士達の思いや願いについて考え、適切に表現している。

観察・資料活用の技能	○武士の政治の始まりや武士の思いや願いについて資料を活用して調べ、読み取ったりまとめたりしている。
社会的事象についての知識・理解	○鎌倉幕府がご恩と奉公の関係で武士たちを従わせ、その力が西国にまで及ぶようになったことを理解している。

6. 小単元の指導計画（7時間扱い）

	時数	主な学習活動と内容	指導上の留意点
つ か む      調 べ る ・ 追 求 す る	1	○武士とはどのような人たちのことか考える。 ・「武士のやかたの様子（想像図）から武士の生活の様子を読み取らせる。 ・「貴族のやかたの様子（想像図）と対比させ、違いを知る。 ・武士がどのような暮らしをしていたのか考え、貴族との違いをつかむ。	○貴族と武士のやかたの様子が対比しやすいように資料を提示し、違いを感じ取らせる。
	1	○武士の政治の始まりについて「三条殿夜討巻」の資料や年表から武士がどのように勢力を伸ばしていったのか読み取る。 ・武士の戦いの様子から貴族との力関係の逆転やいくつも伸樹を使っていることについて読み取る。 ・平氏の台頭について教科書や資料から読み取る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">武士はどのようにして勢力をのばし、どのような政治を行っていったのだろうか。</div>	○武士の台頭は平氏から始まったことを読み取ることでできるよう助言する。
	1 (本時)	○源平の戦いで源氏はどのように平氏を破ったのか考える。 ・多くの武士が平氏に不満を持っていたことを想起し、頼朝の挙兵について考える。 ・石橋山の戦いで敗れた頼朝がその後平氏をどのように破ったのかを知る。 ・千葉氏がどのように源平合戦に貢献したのか	○頼朝が挙兵したことで平氏に不満を持つ武士が味方したことをあきらかにする。 ○石橋山の戦いで敗れたたにも関わらず平氏に勝利したことを伝える。

まとめる	1	<p>を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頼朝がどのような政治を行ったのか予想する。</li> </ul> <p>○頼朝がどのようにして武士達を従えていったのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頼朝は、どのような場所に幕府を置いたのかを理解する。</li> <li>・千葉氏が頼朝から高い地位を与えられた理由を考える。</li> <li>・頼朝の死後も「ご恩と奉公」の関係が引き継がれ、幕府の支配が強くなったことを理解する。</li> </ul>	<p>○土地の安堵が武士達にとってありがたいものであり、幕府の為に働こうという意欲に繋がることを伝える。</p> <p>○千葉常胤の幕府での地位からご恩と奉公について考えられるようにする</p>
	1	<p>○鎌倉幕府の力がどのようにして弱まっていったのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元との戦いについて調べる。</li> <li>・武士達が幕府に期待したことを考える。</li> <li>・武士達に恩賞を与えることができない鎌倉幕府がどのようになっていったのか考える。</li> </ul>	<p>○一所懸命に戦って元を退けた武士達の気持ちになって考えるよう助言する。</p>
	1	<p>○地域の鎌倉時代の武士について調べ、思いや願いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉常胤の出自やエピソードから頼朝との関係について考える。</li> <li>・千葉、幕張の地名と源平合戦との関係について考える。</li> <li>・千葉氏の妙見信仰と千葉神社、本校の校章との関連を考える。</li> </ul>	<p>○地域と関連したさまざまな資料を用意し、興味を持って取り組むことのできるようにする。</p>
	1	<p>○今まで学習してきたことを新聞にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平氏の台頭、源平合戦、鎌倉幕府の成立、元寇など、自分の興味ある出来事を選択し、自分の言葉でまとめる。</li> <li>・授業中に扱った資料だけでなく、教科書や資料集の様々なエピソードや、図書室の資料なども利用してまとめる。</li> <li>・資料から分かったこと、考えたことを新聞にまとめる。</li> </ul>	<p>○調べ学習で使った資料から好きなものを選択させ、児童が興味を持って取り組むことができるようにする。</p> <p>○当時の人々の願いや思いを資料から読み取り、考えることができるようにする。</p>

## 7. 市教研の研究主題との関連

社会の形成者として主体的に判断し行動する力を育てる社会科学習のあり方

本年度主題解明のための方策（市教研社会科部会研究計画案より）

- ①児童生徒の学習意欲を高めるための学習指導と評価のあり方を明らかにする。
- ②児童生徒に調べ方や学び方を習得させる指導と評価のあり方を明らかにする。
- ③基礎的・基本的な内容の定着を目指した学習指導と評価のあり方を明らかにする。
- ④児童生徒の多面的・多角的な思考力を高めるための学習指導と評価のあり方を明らかにする。
- ⑤より良い社会を築こうと意志をもって行動する力を育成する学習指導と評価のあり方を明らかにする。

本単元では、①と④を重点的に考えた計画を立案した

- ①児童生徒の学習意欲を高めるための学習指導と評価のあり方を明らかにする。

○伝統や文化など地域に根ざした教材の開発

社会科に対する学習意欲の高い本学級であるが、教科書に載っていることと、自分たちの住んでいる地域の歴史に関連があると感じていないようであった。私たちの住む千葉市には千葉氏という鎌倉幕府の始まりに大きく貢献した人物がいる。「源平合戦でなぜ頼朝が房総半島で力をつけることができたのか。」「もともと平氏の出自である千葉氏が鎌倉幕府の高い地位につき、頼朝に重用されたのはなぜなのか」を考えると鎌倉幕府の「御恩と奉公」の関係が見えてくる。そこで本単元では、源平合戦の1エピソードとして常胤を扱うのではなく、千葉常胤を通して鎌倉幕府の始まりについて考えさせていきたい。本校は千葉市郷土博物館にも近く、本時では郷土博物館のガイドの方からの説明のビデオを見ることで、地域とのつながりをより強く感じさせ、自分たちの地域に関係ある人物が鎌倉幕府の成立と密接に関連していたことを感じ取らせることでより一層児童の学習意欲を高めさせたい。

- ④児童生徒の多面的・多角的な思考力を高めるための学習指導と評価の在り方を明らかにする。

○見方や考え方を学ぶことができるような教材の開発

社会科が嫌いだという児童の中に、「考えることが算数に比べて少ない」という児童がいた。この児童に話を聞いたところ、社会科は資料を見てそれをまとめて書くだけなので単純作業になり、考えることが少ないということであった。今までの学習で調べ学習では、資料から事実の読み取りに重点を置いていたため、児童の考える活動が不十分であった。本小単元からは資料から事実を読み取らせたのち、それらの事実をまとめて、どのような思いや願いがあったのかということを考える活動をさせていきたい。本時では、初戦の石橋山の戦いで大敗した源氏が、手勢わずか数百騎というところからすぐに挽回し、源平合戦に勝利することができた理由を、児童に資料をもとにして考えさせる活動を授業に取り入れたい。また、資料の読み取りとともに、千葉市郷土博物館のガイドの方からのビデオを用い、児童が気付かない視点の事実を伝えることで、武士達の思いや願いをより広く、深く考える活動を行い、児童の思考力を高めていきたい。

8. 本時の指導

(1) 目標

○源平の戦いで源氏が平氏に勝利したのは、多くの武士が新たな棟梁を求めて頼朝に従ったことや千葉常胤、源義経らの働きがあったことを資料から読み取ることができる。

(2) 展開 (3 / 7時間)

学習活動と内容	教師の指導・支援 (○) と評価 (◆)	資料等
<p>1. 前時までの振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴族よりも武士が力をもっていった。</li> <li>・平氏が力をつけて勢力をのばしていった。</li> <li>・平氏以外の人たちはきっと不満をもっていったに違いない。</li> </ul> <p>2. 源氏の進軍経路や勝敗からわかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終的には源氏が平氏にうち勝った。</li> <li>・立て続けて源氏が勝っている。</li> <li>・源氏はとても強い勢力だった。</li> </ul> <p>3. 本時の課題をつかむ。</p>	<p>○前時までの学習から多くの武士が平氏に不満を持っていたことを想起できるよう声かけをする。</p> <p>○自分が平氏の人間でなければどのように思うか声かけをして当時の人々の気持ちに気づかせる。</p> <p>○誰が挙兵し、平氏に対抗しようとしたのか発問し、どの勢力が争ったのか理解できるようにする。</p> <p>○日本地図に源氏の進軍経路を書き入れ、どのように源氏が平氏を破っていたのかを視覚的に示す。</p> <p>○源平合戦でどちらが勝ったのかを資料を使って示し、源氏が勝利した事実をつかませる。</p> <p>○戦場での勝敗を示し、どのように源氏が勢力を強めていったのかを示す。</p> <p>◆源平合戦での各戦場の勝敗から源氏と平氏の勢力の趨勢を読み取っている。(資料活用の技能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平清盛の画像</li> <li>・源氏の進軍経路と勝敗</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">源平の戦いで源氏はどのように平氏を破ったのだろうか。</div>		
<p>4. 石橋山の戦いで敗北した源氏がその後勝利し続けることができた理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・逃がしてくれる人がいたのではないか。</li> <li>・千葉県で力をつけたのではないか。</li> </ul>	<p>○初戦で敗退したにも関わらず、その後勝ち続けることができたことはなぜなのか発問し、なにかがあったことに気づけるようにする。</p> <p>○資料をもとに様々な予想を立てさせる。発言しやすい場づくりを行い、児童のつぶやきをクラスに広める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・源氏の勢力の趨勢がわかる揭示物</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・頼朝の味方をしてくれる人がいたのではないか。</li> </ul>	<p>○源氏の進軍経路の上で、源氏の勢力の趨勢を円の大きさを視覚的に示し、房総半島が重要な場所であったことを気づかせる。</p> <p>◆積極的に予想をし、発言している。(関心・意欲・態度)</p>	
<p>5. 千葉常胤がなぜ源氏の味方をしたのかを予想し、班で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もともと源氏の味方だったのではないか。</li> <li>・石橋山の戦いは千葉から遠くて戦いの始まりに間に合わなかっただけなのではないか。</li> <li>・源氏に対して恩があったのではないか。</li> </ul>	<p>○予想したことを、ノートに書かせることによって、必ず話し合いに参加することができるようにする。</p> <p>○この時代の兵士の立場等を思い出させ、自分が千葉常胤の立場にあったらどのように考えるのか助言する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉常胤の画像</li> </ul>
<p>6. 千葉常胤に関する資料を班に渡し、読み取った事実からどのようなことが考えられるのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もとは平氏の人間だった。</li> <li>・千葉県は平氏の勢力が大きかった。</li> <li>・平氏に対して土地を奪われた反感をもっていたのではないか。</li> <li>・源氏を頼りにしていたことがある。</li> </ul>	<p>○封筒に資料を入れて班に渡すことで、児童に期待感を抱かせ関心を持って資料の読み取りに取り組むことができるようにする。</p> <p>○千葉氏の系図の資料から出自が平氏であることを読み取らせることで、なぜ平氏の味方をしなかったのか疑問をもたせる。</p> <p>○房総半島の勢力図から房総半島が源氏の支配下であったわけではないことを気づかせる。</p> <p>○考えることの難しい児童には、自分が常胤だったらどのような願いをもつのかを考えさせる。</p> <p>◆読み取った事実から常胤の思いや願いを考え、表現している。(思考・判断・表現)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉氏の系図</li> <li>・房総半島の源平の勢力図</li> <li>・千葉常胤の漫画</li> </ul>
<p>7. 郷土博物館のガイドの方から千葉常胤がどんな人物であったのか話を聞く。</p>	<p>○千葉氏について造形の深い方からの話を聞くことで、より多面的な考え方ができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドの方の解説ビデオ</li> </ul>



<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉常胤はこんな人物だったのか。</li> </ul> <p>8. 本時のまとめをする。</p>	<p>○身近な地域の郷土博物館の方から話を聞くことで千葉常胤の存在をより身近に感じることのできるようになる。</p>	
<p>源氏は千葉常胤らの活躍によって平氏を破ることができた。</p>		
<p>9. 学習の感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの武士の働きで源氏は平氏を破った。</li> <li>・昔からのつながりで千葉氏は源氏の味方をした。</li> </ul>	<p>○自分の感情だけではなく、常胤の選択や、源平合戦にどのような思いを持ったのか感想を書く視点を示す。</p>	